

## 〔活動報告〕

# ワークショップ「浄圓寺・鳥居観音史料から見る近代日中関係」

日時 2013年2月21日（木）  
場所 愛知大学名古屋校舎W32会議室

2月21日、愛知大学国際問題研究所と愛知大学東亜同文書院大学記念センターの共催によるワークショップ「浄圓寺・鳥居観音史料から見る近代日中関係」が開催されました。

平日の午後でしたが、北海道からの方を含め、全国から都合50人近くの参加者がありました。ワークショップでは、同文書院1期生の水野梅曉、後輩にあたる書院外務省給費生の藤井草宣のご子息、ご息女がお父上の生前の活動や面影についてお話下さり、史料に拘わる人の実際をかき見ることができました。多くの学外の研究協力者の方々の研究報告に続き、活発な意見交換が行われ、実り多い催しとなり、愛知大学を軸とした新たな研究交流の発信が出来たと思います。ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。

主催：愛知大学国際問題研究所 共催：愛知大学東亜同文書院大学記念センター

### ワークショップ 浄圓寺・鳥居観音史料から見る近代日中関係

日中戦争時期を中心に、近代の日中関係は複雑かつ困難なものであった。そうした中、本学の前身のひとつである東亜同文書院、さらに書院に関わる藤井草宣や水野梅曉の行動は、注意深く一次史料から検討するべきである。このワークショップでは、そうした藤井草宣と水野梅曉に関わる史料状況と、そこから見える近代日中関係の一面をあきらかにしたい。ここでは、藤井草宣に関連する史料を蔵する豊橋浄圓寺、水野梅曉の史料を蔵する埼玉県飯能の鳥居観音にスポットを当て、実際の史料探査作業の経緯を含め、報告する。

開催日：2013年2月21日（木） 13:00～18:00  
会場：愛知大学名古屋校舎 厚生棟3階 W32会議室  
(名古屋駅より徒歩約10分 / あおなみ線さきしまライブ駅 下車 / 駐車場なし)  
言語：日本語 ※申込不要・参加無料

#### プログラム

主催者挨拶  
1. 藤井草宣・水野梅曉について……三好 章(愛知大学)・藤井宣丸(浄圓寺・草宣子息)  
2. 浄圓寺史料と近現代中国社会史研究……佐藤仁史(一橋大学)  
3. 日中戦争に関する浄圓寺史料について……広中一成(三重大学・愛知大学)  
4. 浄圓寺所蔵水野梅曉関係書籍について……宮原佳昭(南山大学)  
5. 浄圓寺史料のデジタル化……田崎一郎(愛知大学東亜同文書院大学記念センター)・曉敏(愛知大学三遠南信地域連携センター)  
6. 浄圓寺史料の整理について……野口 武(愛知大学大学院)  
7. 鳥居観音所蔵史料……藤谷浩悦(東京女子大学)・川口泰斗(鳥居観音職員)  
◇ 鳥居健一(湘州・韓山師範大学)がSkypeで参加(予定)  
総合討論  
終わりの挨拶……馬場 毅(愛知大学国際問題研究所長・東亜同文書院大学記念センター長)

【お問い合わせ】 愛知大学国際問題研究所事務局  
〒463-8777 Tel:052)964-6121  
名古屋市中村区港町4丁目60番6 Fack:052)964-6223  
E-mail:kokken@iui.aichi-u.ac.jp

